

福岡県の財政と主要施策 (令和7年度)

令和7年度当初予算編成の考え方

未来への礎を築き、飛躍・発展する福岡県へ 2兆1,878億円 (対前年度比557億円、3%の増)

一般会計歳入歳出規模

- 人を育て、人を惹きつけるまちをつくる
- 産業を育て、はたらく場を広げる
- 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る



福岡県の予算

検索

人を育て、人を惹きつけるまちをつくる

「子育て」を応援

- 第3子以降の保育料を無償化 5億3,409万円
多子世帯の経済的負担や3人以上の子育て世帯の減少を踏まえ、第3子以降の保育料の無償化に取り組む市町村に対し県が独自に補助
- 育休を取り共育てをする「よかパパ」を応援 6,878万円
・ 中小企業における男性従業員の育休取得率100%を目指す行動計画策定を支援
・ 家事・育児の実践事例などをまとめた「パパノートブック」を配布し、男性の積極的な育児参加を応援

「こども」の健やかな成長を応援

- 未来子どもチャレンジ応援プロジェクトを推進 2億5,845万円
・ 仕事や科学、工作などさまざまな体験ができる子ども体験フェスティバルを県内各地で開催
・ 小学校高学年から中学生までを対象に、オーストラリアでのホームステイ体験を実施
・ 高校生が海外の大学生と自分の将来や世界の未来について議論する「福岡未来創造キャンブ(On Your Mark!)」を開催
- 県立高校の体育館等へのエアコン設置を推進 1億524万円
生徒の健康を守り、災害時における避難所環境の充実を図るため、体育館や特別教室・食堂・厨房へのエアコン設置に向けた設計を実施
- 県立学校のトイレの快適性向上を推進 3億5,333万円
県立高校や特別支援学校のトイレに温水洗浄便座を設置

「女性」の活躍を応援

- 働く女性の健康を守るための取り組みを推進 730万円
・ 生理や更年期といった健康課題による望まない離職などを防ぐため、健康とキャリアを両立するためのお役立ち情報をSNSで発信
・ 女性社員の健康課題に取り組む企業にコンサルタントを派遣し、収集した好事例を女性の活躍推進ポータルサイトで発信

年齢や障がいの有無、国籍を問わず「すべての人」の活躍を応援

- 就職氷河期世代の正規就労を支援 1,237万円
・ 職業体験ブースを設置して建設・介護・保安・農業などの合同会社説明会を開催
・ 高等技術専門学校において最先端技術訓練の実施に向けたカリキュラムを作成

社会を支える「担い手」を育成

- 看護学生の県内就業を促進 8,405万円
看護の修学資金を大学や専門学校、高校の看護専攻科の学生に貸与
- 看護職員の復職を後押し 670万円
子育てなどで一旦現場を離れた方を対象に採血や輸血ポンプの取り扱いなどの実践的な研修を実施

人とまちを元気にする

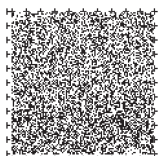
- 世界を見据えた県内アスリートを育成 426万円
アクション福岡を拠点とした国内最高峰のトレーニングセンターの構想を検討
- 将来の文化芸術を担う若手芸術家を育成 4,657万円
文化芸術活動の担い手を育成・支援する「福岡県アーツカウンシル(仮称)」の設立検討委員会を設置。若手芸術家の活動を支援

「住みつけたい、住んでみたいまち」をつくる

- 花あふれる豊かな県づくりを推進 1億724万円
魅力あるまちをつくるため、「花による美しいまちづくりコーディネーター」の石原和幸氏と連携し、市町村の特色を活かした道路・公園などの花壇の整備を支援
- 交通空白地域の解消を推進 1,555万円
コミュニティバスの広域運行や公共ライドシェア導入などに取り組む、市町村に対する研修会、専門アドバイザー派遣の実施

〈ワンヘルスとは〉

ワンヘルス(One Health)とは、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方です。私たちが健康に暮らしていくためには、地球に暮らす動物、そして地球自身も健康である必要があります。本県では、ワンヘルスを実践するため、全国初となる「福岡県ワンヘルス推進基本条例」の制定をはじめ、ワンヘルスフェスタの開催やワンヘルス教育、調査研究の実施など、さまざまな取り組みを行っています。



FUKUOKA ONE HEALTH

ワンヘルスポータルサイト



福岡県の基本方針

- 人獣共通感染症対策
- 人と動物の共生社会づくり
- 薬剤耐性菌対策
- 健康づくり
- 環境保護
- 環境と人と動物のより良い関係づくり

